

# 人のため

この事実を、ご存知でしょうか。  
「人のために頑張る」という偽りについてです。

「人のために頑張ります」  
「人様のために、一生懸命です」

自分のことより、他人のことを優先して考える人は、優しく思いやりがあり、人間として素晴らしく感じま

す。  
一般的にも「人様のために」という言葉は、受けがよいものです。

あなたもこうした人は「素晴らしい人だな」と感じることでしよう。  
反論できる人は、なかなかいません。

しかし、私はこれまで「人のために頑張ります」という人を見ることがありません。人のために頑張っている人に限って、自分の生活は貧しかったり、家族や人間関係がうまくいっていないかっ

他人のことばかり考え、頑張りが過ぎて、自分の生活が傾いているのです。遠くばかりを見ているから石につまずくようなイメージです。  
他人の幸せばかりを考えすぎて、自分の幸せはまったく考えていません。

自分のことを考える余裕はなくなり、生活は貧しくなります。

人のために頑張っても、自分の幸せにつながっていないければ、不幸の道を歩んでいるということなのです。

漢字では「人の為（ひとのため）」と書いて「偽（いつわり）」と書きます。人のために頑張るというモチベーションは偽りであり、本当に心から人のために頑張っているわけではありません。

結局「頼りにされたい」「ありがとう」と言われたという願望のために、人のために頑張っているのです。

頼りにされるのはいいのですが、本当に自分の幸せにもつながっているかという点、そうでもない。「人の為」という大義名分によって、自分を偽っているのです。

灯台では、遠くを照らせば、足元が暗くなります。人のために生きるほど、自分の生活は貧しくなっ

まうのです。

嫌われるのは、できるだけ避けたいことです。

仲良くやっけていくに、超したことはありません。多くの人と仲良くすればするほど、多くの協力や援助が得られ、夢に向かうスピードが加速するでしょう。

## 嫌われる

人生では、必ず誰かに嫌われます。誰からも嫌われない人生はありません。世の中にはさまざまな人がいますから、自分の意見や考えに同意してくれない人も、必ずいます。

自分の信念を貫くのなら、嫌われる覚悟が必要です。同意してくれない人のために、自分の道を諦める必要はありません。誰かに嫌われたまま生きていくのは、悪い人生であるように思えますが、そういうものなのです。嫌われないように生きていくとすれば、どの道にも歩めなくなります。

誰からも好かれようとする八方美人より、誰かに嫌われる覚悟のある人のほうが、輝いています。

反対者がいるくらいで、めげるのなら、その程度の信念です。

嫌われたくらいで、諦めるのなら、その程度の夢です。反対されたり嫌われたりすれば、信念を試されていると考えます。嫌われて、大いに結構ではありませんか。すべての人から好かれるのを、やめることです。

誰からも好かれようとするから、はつらつと生きてけるのではありません。嫌われる覚悟ができるから、はつらつと生きていけるのです。

嫌われる覚悟ができたとき、いい意味で、吹っ切れます。初めて自由が手に入り、自分らしく生きていけるようになります。嫌われたら、そのままにして、自分の道を突き進みましょう。

嫌われる覚悟ができたとき、夢に向かうスピードが、より一段と速くなるのです。慣より  
| 人生を豊かにする30の習慣

(有)西川経営オフィスサービス  
中村会計  
事務所便り  
2016年8月29日 (月) NO 402  
地域から明るい未来を作ろう